

0201010



# ミュージック

マスター

マニュアル

専用ジョイスティック・コントローラー使用

PERSONAL COMPUTER

# RX-78

GUNDAM

このソフトは、RX-78のサウンド機能を生かして、画面上で作曲、演奏ができます。

オーバーレイをのせて、キーボードだけでも又、専用ジョイスティック・コントローラー(別売)を併用しても、どちらでも操作することができます。

カセット・インターフェイス内蔵のカートリッジですから、テープへのSAVE、LOADが可能です。

## ミュージック・マスターの概要

音符を入れていくだけで作曲できる。あなたも今日からミュージック・コンポーザー。

- 音符を読むのが苦手な方でも、すぐ作曲することができます。
- 拍子と調を決めれば、コンピュータが小節の区切りもしてくれます。
- 移調がワンタッチ。気に入った曲を好きな高さに簡単に変えることができます。
- 音色やアルペジオのスピードを変えることによって、一つの曲を雰囲気を変えて楽しむことができます。
- ほぼ楽典に従ったプログラムですから、自然に音楽の基礎知識を身につけることができます。

### もくじ

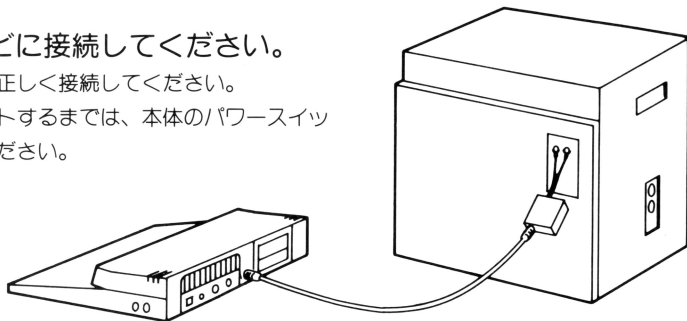
操作の準備	1	● 音符を進める、もどす、高さ、長さ、付点、休符	6
オーバーレイ及びジョイスティック	2	● 半音、タイ、小節	7
ミュージック・マスターの操作手順		● 音の修正	8
①スイッチON	3	● 楽譜クリア	8
②初期設定	3	⑤曲を演奏するには	9
③作曲を始める	3	⑥曲の編集の時使うキー	9
①拍子の設定	3	⑦コードについて	10
②調の設定	4	⑧曲をアレンジする	11
④旋律を入力する	6	⑨曲をテープに保存、再生する	13

# 操作の準備

## ①本体RX-78をテレビに接続してください。

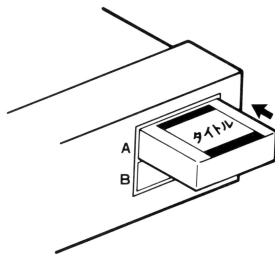
本体取扱説明書にしたがって正しく接続してください。

ご注意 カートリッジをセットするまでは、本体の電源スイッチをOFFにしてください。



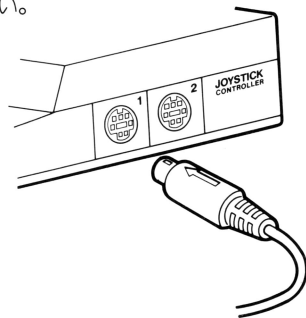
## ②カートリッジをセットしてください。

1. 本体の電源スイッチをOFFにしてください。
2. カートリッジを本体のうしろにあるカートリッジ差し込み口に差し込んでください。
3. カートリッジ差し込み口はA、B 2カ所あります。どちらでもOKです。但し同時に2個差し込まないようにしてください。
4. カートリッジはタイトル面を上にして差し込みラインまでしっかり、差し込んでください。

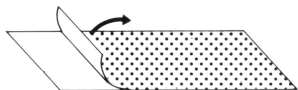


## ③ジョイスティックの接続のしかた

ジョイスティック・コントローラーのプラグの矢印を上にして、本体のジャック（穴）の1にきちんと合わせてしっかりと止まるまで差し込んでください。

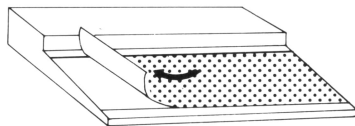


# オーバーレイ及びジョイスティックの操作



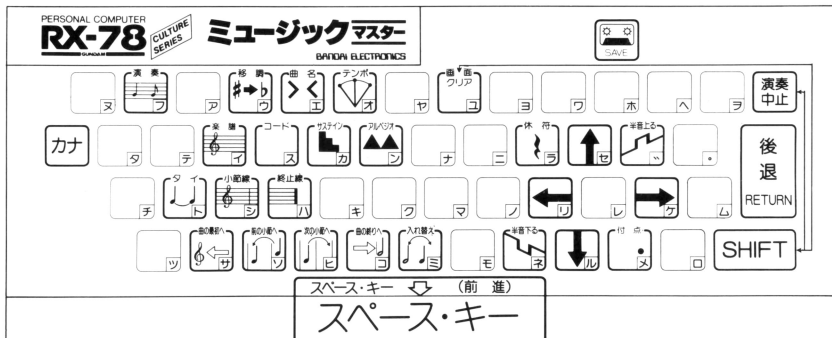
## ①オーバーレイの取り付けかた

台紙から、ゆっくりはがしてキーボードの上にピッタリあわせてのせてください。オーバーレイを上から軽くこすると、ピタッとつきます。

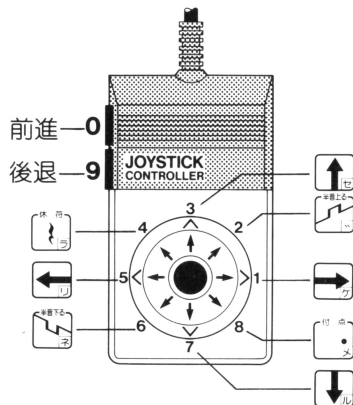


## ②オーバーレイの保存のしかた

ゲームが終わったら、キーボードから取りはずしてパッケージの台紙の裏に平らに貼ってください。オーバーレイの取扱い注意については、この説明書のウラ表紙をお読みください。



## ジョイスティックの操作



# ミュージック・マスターの操作手順

## 1 パワースイッチをONにしてください。

(接続を確認してからONにしてください)

タイトル画面(写真①)が表示されます。

スペース・キーを押してください。次の画面(写真②)に変わります。

出ない場合は1ページの「カートリッジのセットのしかた」、または、本体RX-78の取扱説明書をよくお読みください。



## 2 初期設定 (操作はキーボード上のオーバーレイで行ないます。ジョイスティックの場合はレバーをそちらへ倒します。)

新しい曲を作曲するかどうかを決めます。

- 作曲をする場合：  スペースキー キーを押します。

(以下、 マークは、オーバーレイのその表示部分を押すことです。)

画面は作曲画面(写真③)に変わります。

※テープからLOADする場合は後述。



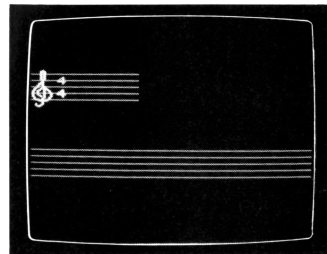
## 3 作曲を始めます。

### ①拍子の設定






あらかじめ $\frac{4}{4}$ と表示しており、分子(拍子)が赤になっています。

赤い部分が変わり可能です。以後、赤く表示されている部分が変わることができる内容です。

- $\frac{4}{4}$ 拍子で作曲する場合： スペースキー を押して先へ進みます。



## ●他の拍子で作曲する場合：分子から決めます。



1.  = 数が大きくなる  = 数が小さくなる で分子を決めます。
2.  で分母(拍子の単位となる数字)が赤くなります。分子の時と同様に数字を変えます。分母は2、4、8だけです。
3. 再び分子を変更したい時は  で分子にもどります。  
※1度拍子を決めると、作曲の途中での変更はできません。  
※拍子が決まったら  で先へ進みます。

## ②調の設定

あらかじめ長調に設定されており、主音が表示されています。

## ●そのままでよい場合： で先へ。


## ●調を変更する場合：調号(＃又は♭)をつけます。

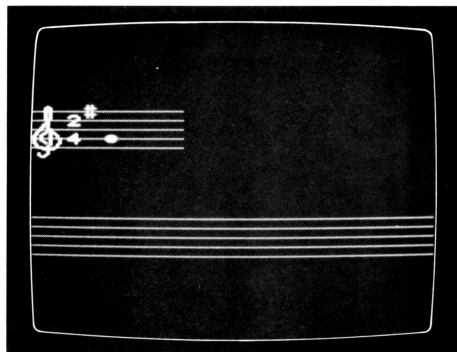
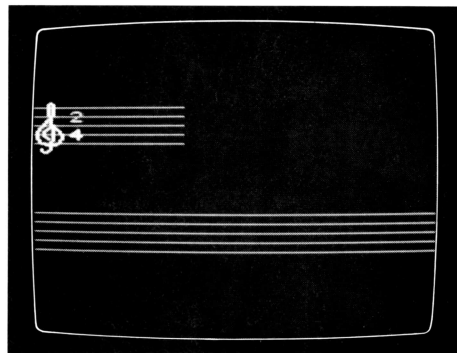
- ♭をつけ、押すごとに増す   ●♯をつけ、押すごとに増す
- ♯を減らして♭へ移る ●♭を減らし♯へ移る

♯、♭をつけると同時にそれぞれの長調の主音も表示されます。

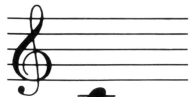
変位記号のついた音は、5線譜上でも自動的に変位されます(♯、♭をつけて演奏します。)

このプログラムでは、長調の主音だけを表示していますが、短調の旋律を入力する時は、調号と主音の一覧表の短調の方を参照してください。

調の設定が終わったら  で先へ進み曲を作りはじめます。



# 調号と主音の一覧表



八長調



イ短調



ㄗ長調



二長調



イ長調



ㄗ短調



□短調



嬰^短調



ㄗ長調



□長調



嬰^長調



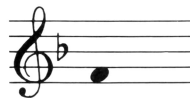
嬰/短調



嬰ㄗ短調



嬰二短調



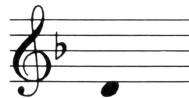
^長調



変□長調



変ㄗ長調



二短調



ㄗ短調



八短調



変イ長調



変二長調



変ㄗ長調



^短調



変□短調



変ㄗ短調

## 4 旋律を入力します。

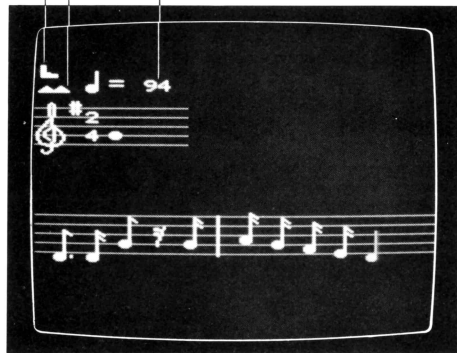
画面には、あらかじめ設定されている内容が表示されます。

■ = サステイン有 ▲▲ = コードによるアルベジオ

♩ = 94 テンポ：94(♩が1分間に94)

下段の5線譜には、決めた調子の主音が赤でついています。この音から変えながら作曲していきます。

サステイン  
アルベジオ テンポ



● 音符を1つずつ先へ進める =

● 音符を後へ1つずつもどす =

● 音の高さを決めるには

= 音符が上に1音づつ上ります

= 音符が下に1音づつ下ります

いずれかのキーを押すとその高さの音が出ながら、音符が上下します。音を聴きながら好みの所へ音符をもってってください。

● 音符、休符の長さ(種類)を決めるには

= 音符、休符の長さを長くする

= 音符、休符の長さを短くする

長くする場合は○、短くする場合は♩でピツと音がして止ります。休符も同時に長さが変わります。



● 付点をつけるには ♩

= 1回押すと付点がつき、もう1回押すと消えます。

※ただし ♩ (16分音符)には付点がつきません。


● 休符をつけるには ♩



= 1回押すと、その時赤で表示されている音符の長さと同じ長さの休符が音符と入れ換って表示されます。

もう1度押すと、もとの音符にもどります。





## ●前に入れた音を修正する場合

で、修正したい音符(休符)の所へ赤い符をもどします。


①高さを変えたい場合：で自由に変えることができます。

②長さ(音符、休符の種類)を変えたい場合：

a.短くする時 




●付点のついてない音符(休符)→を押すごとに半分の長さのもの2ヶに分割されます。



(例)  → 

●付点のついている音符(休符)→を押すと、付点をとったものと、その半分の長さのものに分割されます。

 → 

b.長くする時 

●を押すと、原則として右隣の音を合わせた長さになりますが、次の音との合計の長さが、このプログラムで表示できない長さになった時は、を押しても表示は変わりません。こんな時は、いったん次の音(右隣り)の音の長さを変えてからを押します。

●又、を使って音符入れ換えを利用する方法として、前後の音の長さが、変えたい音と同じだった場合に、で入れ換えることによって修正することができます。この方法は、


後方に離れている音でも、赤い音符をその前へもっていった順に入れかえていけば、目的の所までその音をもってきて修正することもできます。

c.付点を後からつけたい時

●次の音符(休符)が、変えたい音符の半分の長さの場合：

を押せば付点がつきます。

●次の音符が半分でない場合：



次の音符を半分の長さに変えてからを押せば付点がつきます。



※修正の時はキーを押しても付点つきません。

d.臨時記号をつけるとき(♯、b、b)




修正の時は、これらはその音符だけにしかつけることはできません。その小節内に同じ高さの音がある場合は、その都度その音につけてください。

## ★楽譜をクリア(消す)する場合








 + を押します。→画面はタイトル画面にもどり、それまでに入れた曲は全て消されてしまいます。


※やにしても前の曲は再現されませんからご注意ください。

## 5 曲を演奏するには

- を押すと、曲の最初から音符(休符)を入れ終った所まで、自動的に演奏します。コードがついている時は、そのコードのアルペジオも同時に演奏します。
- 曲の演奏を途中で止める場合は→  +  で行ないます。


## 6 曲を編集する時に使うキー

- 曲の最初にもどりたい時 →  曲のどこからでも、このキーで曲の最初にもどることができます。
- 曲の最後へ進む時 →  曲のどこからでも、その時入力されている曲の最後の符へ進みます。
- 次の小節の頭へ進む時 →  現在、作曲や編集をしている小節から、次の小節の一番最初の音へ進みます。
- 前の小節の頭へもどす時 →  現在、作曲や編集をしている小節から、前の小節の一番最初の音へもどります。
- 音符を入れかえる時 →  現在、作曲や編集をしている音符(又は休符)と、1つ前の音符(又は休符)と入れ替えることができます。
- 最初の小節線を引く時 →  1番最初の小節線だけは、最初に設定した拍子内であれば、自由な所で小節線を引くことができます。
- 終止線を引く時 →  曲の一番終りにつける終止線を引くことができます。

※ 終止線を引く場合、最後の小節を完成させて先へ1音進み(次の小節の最初の音を表示する)、それから  で終止線を引いてください。


楽譜の途中で終止線を入れると、後に入っている楽譜は全て消えてしまいます。



# 7 コードについて

キーで、コードのモードになり、画面に図のようなコード選択表が表示されます。





カーソル **\*** を動かしてコードを選び、音符の1つ1つの上に、コードをつけて、アルペジオによるコード演奏が伴奏音型になります。


## ●コードの選択方法（\*マークの移動は ）


①最初に図の  の位置に **\*** マークが赤で表示され、——が音符の上部に表示されます。


②  とで  ——を、コードをつけたい音符(休符)の位置に移動します。


③  キを押すと**\***マークは、Cの下部に移動します。


④     で **\*** を移動させ、ヨコとタテのコードの交わる位置で、コードの種類を選びます。移動と同時に、音符上部——上を選んでいいるコード名が表示されていきます。

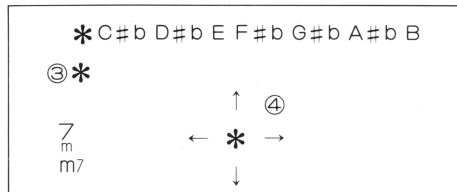
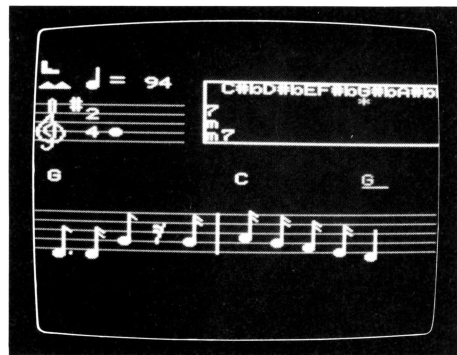
⑤コードが決まったら  を押します。——が1つずつ前進します。以下、同じ要領でコードを順につけていきます。

※一度選んだコードを取る(クリア)する場合→ 

※コード休みにするには→  ——が表示されます。

※再び曲作りをするには→ 

※曲の最初からコードを入れたい時→ 






### 用語の解説1


音名	C D E F G A B (英語)
	ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ (日本語)
	ド レ ミ ファ ソ ラ シ (イタリア語)
Do Re Mi Fa Sol La Si	
主音	ある調の始まる音をいいます。


## 8 曲をアレンジする

### ●移調する場合


最初に設定した調を自由に変えて演奏させることができます。同じ曲を高い調子にしたり低い調子にしたりして聴くことができます。



- ①  キーを押すと写真のようにもう1つ音記号が表示されます。
- ② 調を決める時  -③と同じ方法でもう1つ調を決めます。
- ③ 移調したい調が決まったら  を押します。

最初に設定した調が変わります。演奏は同じ様に  を押します。

- ※ 移調を途中でやめる時は  を押します。
- ※ 一度移調した調を最初の設定にもどすには、同じ移調の方法で、前の調を入力して変更します。



### ●音色を変えるには

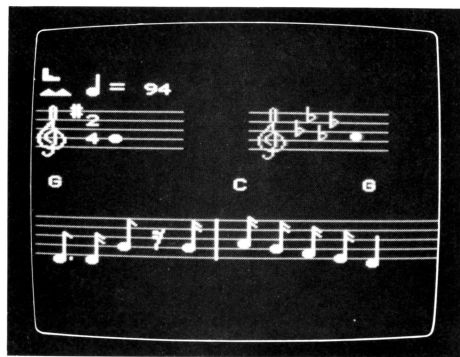
 を押すと、メロディ演奏の音色が変わります。

- ① 左上の表示が  のまゝの場合→サステインがかり、ピアノ風の音色になります。
  - ②  の場合→オルガンのような音色になります。
- ※ 1回押すごとに順にくり返し表示が変わります。

### ●アルペジオの演奏スピードの変化

コードを設定した場合、そのコードによるアルペジオのスピードを2段階設定できます。左上の表示が

- ①  の場合→アルペジオが速く演奏されます。
  - ②  の場合→アルペジオが遅く演奏されます。
- ※ 1回押すごとに順にくり返し表示が変わります。




### 用語の解説 2


**調号** ドから始まる長調、ラから始まる短調以外の長調、短調を作るためには、ある特定の音の高さを#やbによって、変えなくてはなりません。この#やbをつける音は、その調によって決まっているので、楽譜の最初に表示することになっています。これを調号といい、調号によって#やbのついた音は、特に#やbがついたものとして演奏することになっています。


※なお、移調した後の譜面において、もとの譜面と、記譜上の音程が異なって表示される場合があります。

## ●演奏全体の速さの設定(テンポ)



により、演奏の速さを変えることができます。

上部  $\downarrow = 94$  と表示されている数値は、標準の速さをあらかじめ設定してあるものです。これを変えるには、

 = 数値を大きくする(速くなる)

 = 数値を小さくする(遅くなる)

※  $\downarrow = 94$  の音符は、最初に設定した拍子の分母(拍子の単位)の単位によって変わります。数値の範囲は、音符の長さによって異なります。



※ 速さを設定したら  を押し、 (演奏)にもどします。

以上の設定で、作曲、演奏のために必要な入力は全て終了です。この「ミュージック・マスター」のもつ機能をフルに発揮させるため、あらゆる機能を上手に使いこなしてください。



## ●曲名を入れる(カタカナ)

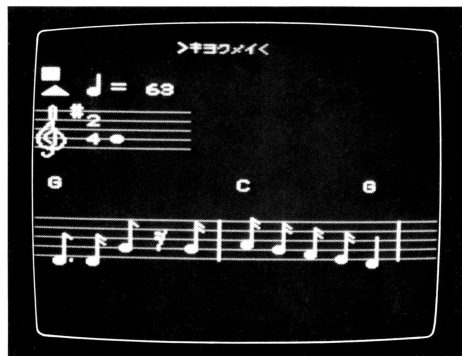
曲ごとに自分で曲名をカタカナでつけることができます。

①  を押します。→最上部に  $\blacktriangleright$  と表示されます。

②  を押しながら、それぞれのカナの  を押し、曲名を入れていきます。(10文字まで)

③  で楽譜にもどります。

※ 1文字空ける時は 、文字を消す時は  で右から1文字ずつ。



### 用語の解説3

**嬰・変** 嬰は#のこと、変はbのことで、たとえば嬰ハ短調は下の#から始まる短調、変ロ長調といえば、シのbから始まる長調のことです。

**臨時記号** 曲の中で調号とは別につける、#、b、のことです。

**アルペジオ(分散和音)** 和音(コード)とは、普通2つ以上の音を同時に出すことをいいますが、これと同時に出不さなくて、ずらして演奏することを、アルペジオ(分散和音)といいます。




## 9 曲をテープに保存、再生する場合

この「ミュージック・マスター」はカセット・レコーダと直接つないで、画面上の曲を全てカセット・テープに記憶(SAVE)させることができます。又、そのテープから再び「ミュージック・マスター」に読みこんで(LOAD)画面上に音と共に再現することができます。

### ●曲のSAVE(セーブ)法

- ①お手持ちのカセット・レコーダと「ミュージック・マスター」を、別紙の説明書どおりに接続してください。
- ②  を押します。(画面はどの状態でもOKです)  
画面に **PUSH REC. PLAY!** と表示が  
画面に **PUSH SPACE KEY** 表示が  
出ます。
- ③カセット・レコーダの録音ボタンを押して通常の録音と同じ状態にします。(テープが正常に回転するのを確認してください。)
- ④  を押します。→画面にWRITING MUSICと、さらに表示が追加され、テープへの書き込みが始まります。
- ⑤終了すると、ピツと音がして楽譜画面になります。
- ⑥カセット・レコーダをストップし、カセット・レコーダのカウンタをしっかりメモしてください。

※FILE NAMEを入れないでSAVEしますから、各自でテープに曲名とカウンタ数字を正確にメモしたものでロードすることになります。

※SAVE途中で  +  を押さないでください。  
もしONCE MOREと画面に表示された場合は  を押してしばらくお待ちください。

### ●テープからのLOAD(ロード)法

- ①SAVEの時と同様に、カセット・レコーダを接続してください。
- ②画面に出したい曲をセーブしたテープを、カセット・レコーダにセットしてください。曲の出だしのカウンタまで送って、曲の最初の少し前からプレイできるように準備します。
- ③タイトル画面が表示されたら  を押します。
- ④画面に **TAPE INPUT?** と表示されます。  
**YES:RETURN KEY**  
**NO :SPACE KEY**
- ⑤  を押します。→**PUSH ANY KEY** と表示され  
**PUSH PLAY!** 表示されます。
- ⑥  を押してから、カセット・レコーダのプレイボタンを押して再生します。
- ⑦LOADINGと表示され、曲をさがします。
- ⑧LOADING MUSICと文字が出れば、曲を見つけてロードしていることになります。
- ⑨約1～2分でロードを終了し、終ると楽譜画面の曲の最初が表示されます。
- ⑩テープを止めて、巻きもととしてとり出します。  
これで曲を作った時と同じ状態ですから、再び曲を聴いたり、修正したりできます。

# プレイ上のご注意

オーバーレイは正しくキーボードの上にのせてください。ズレているとキー操作をまちがえる場合があります。

キーはしっかり押してください。

ジョイスティックでもキーボードでも操作できますので、両方を同時に操作しないでください。

# 取り扱い上のご注意

カートリッジのコネクター口にはホコリなどで汚れないようにしてください。

オーバーレイが汚れたときは、水で洗うか、ぬれた布でふいてください。完全に乾いてから、パッケージの台紙の裏に平らに貼ってください。オーバーレイは揮発性のもの（ベンジンなど）でふかないでください。

接着面には手でさわらないようにしてください。また、ホコリなどがつかないように大切に保存してください。

PERSONAL COMPUTER  
**RX-78**  
GUNDAM

 BANDAI ELECTRONICS  
株式会社バンダイ H.E.D.事業部

〒106 東京都港区六本木5-16-3

インペリアルフォーラム六本木・アネックス6F

お問い合わせ先

**バンダイエレクトロニクス  
サービス・センター**

本 部 / 東京都千代田区神田神保町1-33-2 第百生命ビル4F  
☎(03)233-0381(代表)

札 幌 / ☎(011)862-2430

仙 台 / ☎(0222)84-9420

新 潟 / ☎(0252)33-6541

名古屋 / ☎(052)613-3434

大 阪 / ☎(06) 942-2647

広 島 / ☎(082)292-6241

福 岡 / ☎(092)622-1741